

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		一般観光振興事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	07 商工費		中分類	03 観光業と地域商業の振興	
		項	01 商工費		小分類	01 観光業の拡充	
目		02 観光費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		390	355	386	351	393
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	390	355	386	351	393
H29、H30は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	町民、町外からの観光客						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	地域資源を活かした施設や文化・歴史的遺産など観光資源の整備を図るとともに、観光施設を有機的に結びつけ観光客の受け入れ環境づくりを推進する。						
⑤	事業概要						
	町単独では観光資源に乏しく、交流人口を増大するには、県及び広域的に連携を図りながら事業の推進を行う。（負担金団体） ①宮城県観光連盟 ②仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	人口減少により経済が厳しい状況により、町内活性化を目的として、イベントの開催や地産品販売促進・新商品の開発等に取り組む必要がある。（地産地消の推進など）						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	キャンペーン数 単位：回	実績値	1	1	1	
			目標値	0	0	0	
	定義	宮城県観光連盟及び、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会が主催する観光キャンペーン					
B	単位：回	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	観光客入込客数 単位：人	実績値	232,391	234,121	231,600	
			目標値	0	0	0	
	定義	市町村観地点入込数調査（船形山・かっぱのゆ・シャクヤク祭り）					
B	宿泊観光客数 単位：人	実績値	735	721	684		
		目標値	0	0	0		
定義	市町村宿泊観光客数調査（船形山関係）・市町村教育旅行宿泊実態調査（農業伝習館）						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 11	町単独では限りがあり事業拡大等は出来ない。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	広報活動が広範囲でおこなえる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 11	最小限の経費でおこなっている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	関係機関が連携をとり、各種観光振興事業を実施している。

⑪	課長総括評価 合計点 38 今後の方向性	今後も商工会及び町内の事業所と連携に努め、よりよい事業にして行きたい。 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	<input type="text"/>
---	----------------	----------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		船形観光観光振興事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	07 商工費		中分類	03 観光業と地域商業の振興	
項		01 商工費	小分類		01 観光業の拡充		
目	02 観光費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		186	102	186	111	186
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	186	102	186	111	186
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 登山者 等						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか) 県立自然公園船形連峰御所山全域の自然景観を保護しながら、観光資源としての利用を推進するとともに、関係市町相互の連携・連絡を促進し、観光行政の振興に奇与する。						
⑤	事業概要 ・ 県立自然公園船形連峰御所山連絡協議会 ※登山道、山頂避難小屋管理等						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について ・ 県外からの登山者が多くなった。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	入込客数 単位： 人	実績値	4,240	4,500	4,540	
			目標値	0	0	0	
	定義	1月から12月までの期間					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
目標値			0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指 標 名			#VALUE!	#VALUE!	H元	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
目標値			0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	船形山登山者の安全、利便性確保のため必要な事業である。	
点数	11	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	3
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明	登山口となる大滝野営場の施設、船形山山頂避難小屋（当町及び協議会構成市町村にて）の維持管理を行うことにより、登山者の安全、利便性が確保されている。	
点数	10	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	年に1回、登山道及び山頂避難小屋の点検のため登頂しているほか、定期的に登山口である大滝野営場の点検、清掃を行っている。	
点数	12	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	入込客数については、算出係数を見直したため減少しているが、登頂予定者からの問い合わせは少なく、事業の効果はある。 また、問い合わせを受ける際に、かっぱのゆ、直売所等町内の観光施設についても聞かれることがあり、町内の観光産業に貢献している部分もあると思われる。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	登山者の安全確保を図ることが目的であるが、登山と関連して町内の観光施設への誘客にもつながっており、今後も継続して行う。 施設が老朽化してきている大滝野営場のあり方について、今後検討する必要がある。
	合計点	37
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		平沢交流センター管理運営事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	07 商工費		中分類	03 観光業と地域商業の振興	
項		01 商工費	小分類		01 観光業の拡充		
目	03 平沢交流センター管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H31決算	R1予算
	総事業費（千円）		74,907	74,346	62,623	62,289	70,398
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	7	7	7	6	7
		一般財源	74,900	74,339	62,616	62,283	70,391
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民、町外からの来客者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
平沢交流センターの管理・運営を指定管理者制度を導入し実施することで、住民サービスの向上と施設の効果的・効率的な運営によりコストを削減する。							
⑤	事業概要						
自主事業							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
人口交流を図りながら、地産産業の振興に努め地域の活性化及び町民の保養並びに健康増進を図る。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	指定管理者数	単位：人	実績値	1	1	1	
			目標値	0	0	0	
定義	平沢交流センターかっぱのゆ 指定管理 平沢穀菜センター 指定管理						
B	営業日数（かっぱのゆ）	単位：日	実績値	341	338	342	
			目標値	0	0	0	
定義	平沢交流センターかっぱのゆ 平成29年度年間営業日数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	入館者数（かっぱのゆ）	単位：人	実績値	137,831	131,184	129,836	
			目標値	0	0	0	
定義	平沢交流センターかっぱのゆ 平成29年入館者数						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 11	新たな企画・イベント等を開催しながら顧客確保に努めている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	指定管理者制度の導入による、効率的な運営、仙台方面への積極的なPR等により、町外利用者が増加している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	基本協定書、年度協定書に基づき適切に執行している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	指定管理者の導入により、利用効率の向上を図っている。

⑪	課長総括評価 合計点 45	指定管理の導入により、効率的な運営、多方面への積極的な誘客活動、新たなイベント企画等により利用客が増加しており、本事業の効果は大きい。今後も継続して行う。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	